

(公財) 滋賀県産業支援プラザ あなたの夢をサポートします！ 創業支援 NewsLetter 2020.2月号

(公財)滋賀県産業支援プラザでは創業プラザ滋賀(創業サロン・創業オフィス)、草津 SOHO ビジネスオフィス、米原 SOHO ビジネスオフィス、滋賀県立テクノファクトリーを運営しています。創業や新技術開発など、インキュベーション・マネージャー(IM)による成長段階に応じた支援を行っています。

創業をお考えの方は、(公財) 滋賀県産業支援プラザ 創業支援課まで 077-511-1412

■ アントレプレナー養成講座(ミニセミナー)
「プロカメラマンが実感する写真のチカラと利活用」を開催しました

令和2年1月23日、コラボしが21において、アントレプレナー養成講座(ミニセミナー)「プロカメラマンが実感する写真のチカラと利活用」を開催しました。

このセミナーは「創業プラザ滋賀」の入居者を主な対象とし、起業準備中の方や起業間もない方向けに「写真の利活用」について、プロカメラマン(撮影側)の視点からお話をいただきました。

- 講師の稲場 啓太氏(いなフォト代表)からは、
- ・写真が広告や宣伝、ひいては売上にどれだけの影響を及ぼすのか
 - ・対象物や用途、予算をどれだけかけられるか等により、プロカメラマンに依頼する、自分自身で撮影する、ストックフォトを活用するといった選択を正しく行うこと
 - ・カメラマンに撮ってもらいたいイメージの伝え方、カメラマンとのやりとりの仕方といったことについて、事例を用いて説明をいただきました。



後半は、写真のチカラを実感してもらうことと、プロカメラマンの技術を知って、自分で撮影する場合とプロカメラマンに依頼する選択の判断材料にしてもらうことを目的に、実際にプロカメラマンが使用する撮影機材を用いて撮影の方法やコツについて体感していただきました。

講師はご自身が創業オフィスに入居されていることもあり、参加者からは「親しみやすかった」といった感想の他、事例の紹介や体感するパートを設けたことで「プロに依頼する場合のポイントがわかった」との感想もありました。

今回の参加者は飲食店の経営者や飲食業の起業を検討している方が多いため、メニューブックの作成や WEB サイトにアップするための商品撮影への関心が高く、今後希望するセミナー内容として「撮影方法やコツ」「画像加工」といった要望もありました。



今回は従来のような、写真の“撮り方”ではなく“利活用”をテーマとしましたが、「なんとなく写真を撮って WEB に載せる」ではなく、自身の事業の(WEB 上やチラシ等媒体)での「見られ方、見せ方(PR)」についても考えてもらえればと思います。

■ アントレプレナー養成講座(ミニセミナー)
「お金のデザインセミナー(起業・創業者編)」を開催しました

令和2年1月27日、コラボしが21において、アントレプレナー養成講座(ミニセミナー)「お金のデザインセミナー」を開催しました。

昨年末には、県立米原文化産業交流会館で実施したもので、今回は「創業プラザ滋賀」の入居者を主な対象とし、起業準備中の方や起業間もない方向けに実施しました。

内容は、「想いを事業にし、事業を継続するために、お金をデザインする」として、“起業”することが目的ではなく、事業を“継続”するために、想いを事業として提供し「続ける」ための裏付けとなる「利益とお金」のことについて学ぶこととしました。

講師は、米原 SOHO ビジネスオフィス入居事業者である「Up-grade」竹田 圭佑 氏に務めていただき、セミナー前半は「ビジョナリープラン」や「カンパニースピリッツ」といった想いの部分について説明いただきました。ビジョンを実現するためのツールとしてお金を用いること。ビジョンと数字(お金)をはっきりさせることで、モチベーションアップにつなげる、といった内容です。



後半は「お金のブロックパズル」を実際に描いてみる、動かしてみるということについて説明いただきました。「お金のブロックパズル」は「図形」を使って数字を視覚化し、図形を変化させる(デザインする)ことで、事業継続に必要な数字を捉えようとするものです。

具体的な数字を入れてみることで、売上高のブロックに関係する値上げや値下げが、どのように利益のブロックや粗利率に関係してくるのかといった仕組みを学び、返済や内部留保、給与といったブロックから逆算して売上高を考える方法など、経営者も雇用者もお互いに理解しておくべき内容であることが理解できたと思います。

今回は少人数での開催となり「講師に質問がしやすかった」「参加者同士で意見交換しながら取り組むことが出来た」といった感想のとおり、内容の濃い、充実したセミナーとなりました。

初めて数字を意識する方が多いことや、数字のみ意識してしまい、本来の目的である、想いとお金(数字)が両輪であることを見落としてしまいがちな方もおられましたので、適時、数字を把握すること、常に意識することが必要であると思われました。



■ 県内創業支援機関連携事例
滋賀県信用保証協会主催「起業ノウハウセミナー」に支援機関の一員として出席しました

令和2年1月20日(月)いつも創業支援で連携させて頂いている滋賀県信用保証協会主催の「起業ノウハウセミナー」に支援機関の一員として出席しました。

講師は滋賀県初登壇となる、「会社の母子手帳」「創業手帳」の創業者大久保 幸世 社長です。

“起業後にやるべきことがわからない”という企業を無くしたいとの思いから発刊された「創業手帳」は、創業期の経営者に必要な情報を届け、創業の成功率を高めるという目標をお持ちであり、その想いはプラザをはじめとする支援機関とベクトルを一にすることで、待ちに待った待望のセミナーでありました。

大久保社長によるワークショップ形式でのセミナーは、起業家の皆さんのみならず支援機関の私たちにとっても、知っているつもりで知らなかった創業のノウハウや知識を獲得する絶好の機会となりました。



「創業手帳」は創業前・創業後の方、支援機関、コワーキングスペース等に毎月無料で届けていただけます。百聞は一見に如かず。Webで『創業手帳』と検索して、お申し込みください。

創業支援 News Letter

発行：(公財) 滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号

TEL : 077-511-1412